

プレカットのキットガレージを組み立て 夢だったガレージを手に入れる

Garage
of Hero
SPECIAL
キットガレージ

ガレージを建ててみたいと思ったら、手軽に始められるキットガレージという選択肢がある。プラモデルのようにカット済みの木材を組み合わせ、夢のガレージを手に入れる。そんなキットガレージを集めてみた。



ガレージ内に部屋を作ること可能。設計はすべてお任せで、キットとして提供してくれる。住宅としても使用できる「シダーガレージ+ (プラス)」という商品もある。



同社のキットガレージ「シダーガレージ」はモデルハウスが東京に存在する。実際にキットの作りを見てから、建築を検討できるので、完成時のイメージをつかみやすい。

国内で加工されたツーバイフォー 外部建材もすべてセット

●シダーガレージ

アメリカンテイスト漂うレッドシダーで覆われ、重厚なウッドゲートで閉ざされたガレージ。絵に描いたようなガレージを提供するのはジェイスタイル・ガレージ。

長年キットガレージを扱い、そのノウハウを生かしたのが「シダーガレージ」だ。建材は輸入品だが、構造体の加工は国内で行っているという。同社も最初は加工品を輸入販売していたが、パーツ不足や組み立て加工が間違っていたりと、さまざまな問題が発生。そこで国内での加工へと切り替えて、現在の高い品質を保っている。

基本構造は2×4、大きな梁は使用せずに2×4材などを使用した三角トラス構造で屋根を支えている。

価格はサイズやさまざまな条件によって異なるが、左写真のサイズ(約6×6m)のキットガレージのみで約189万円~となっている。



梁は2×4材などを使い三角トラス形状でキット提供されている。接合部や継ぎ手にはネイルプレート(写真左)を使用し、見た目以上に高い強度を保つ構造だ。三角トラスの間隔をつめるなどの設計変更で、豪雪地帯での建築も可能。設計もすべてお任せできる。



標準キットに入っている建具建材。その完成度は高く、単体で購入してもいいだろう。窓は樹脂製の二重ガラス仕様。断熱効果が高く、コールドブリッジを発生しにくい構造。

標準で付いてくるウッドゲート(上)とオプションの電動オープナー(下)。ワイヤレスリモコン付き。ゲート組み立てにはちょっとしたコツがいる。

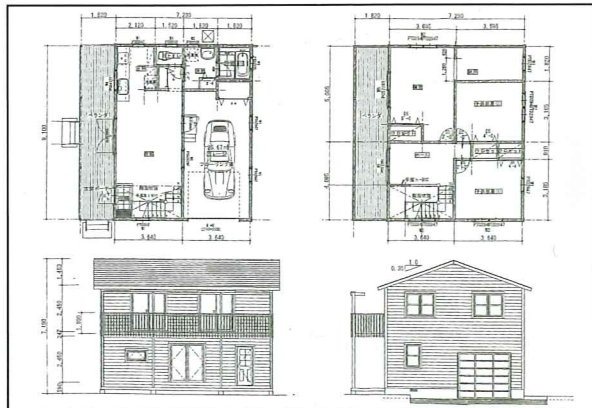
キャンピングトレーラーを設置し、ガレージを組み立てるのもいいだろう。ガレージが出来上がっても生活スペースとして使用できる。写真下は設置に特化したモバイルキャビン。テーブル、ベッド、冷蔵庫、他セットで294万円。(グローバルレジャー-TEL 03-6912-7949)



組み立てに関する詳しい説明が書かれた冊子がキットに付く。輸入品のように英語表記ではなく、日本語で書かれているので、安心して作業可能だ。



既存の建物には木製ガレージドア「ウッディー」がおすすめ。W260×H250cm以内でオーダー可能。オプション電動オープナーはととても静かに作動する。



居住スペース付き「ガレージ・プラス+」というプランもある。上図面はその一例。



問い合わせ先
●ジェイスタイル・ガレージ株式会社
TEL 0120-485-296 (フリーダイヤル)
<http://www.js-g.co.jp/>
営業時間 9:00~18:00
定休日 日曜・祝日